

1.	④	11.	④	21.	①	31.	①	41.	②
2.	④	12.	②	22.	①	32.	④	42.	②
3.	②	13.	④	23.	④	33.	①	43.	③
4.	③	14.	①	24.	①	34.	①	44.	③
5.	③	15.	③	25.	③	35.	③	45.	④
6.	②	16.	③	26.	④	36.	④	46.	①
7.	③	17.	②	27.	④	37.	①	47.	②
8.	②	18.	④	28.	④	38.	④	48.	③
9.	①	19.	②	29.	①	39.	④	49.	③
10.	③	20.	②	30.	④	40.	③	50.	①

1.

解答 ④

【解説】

正解は④「雇用」です。**employment** は、人が賃金を得て働くこと、すなわち「雇用」や「職」を意味する名詞です。**the employment rate**（雇用率）や**full-time employment**（常勤雇用）のように使われます。①「道具」は **tool** や **implement**、②「改善」は **improvement**、③「楽しみ」は **enjoyment** がそれぞれ適切な単語です。動詞 **employ**（～を雇う）の名詞形として覚えておきましょう。

◆補足：**employment** は動詞 **employ**（雇う）から派生した名詞です。関連語として、**employer** は「雇用主、雇い主」、**employee** は「従業員」を意味し、接尾辞-**er**（～する人）と-**ee**（～される人）の違いを理解することが重要です。対義語は **unemployment**（失業）で、これも非常に重要な単語です。**look for employment** で「職を探す」という意味になります。

2.

解答 ④

【解説】

正解は④「要因」です。**factor** は、ある結果や状況を生み出す原因の一つとなる事柄、すなわち「要因」や「要素」を意味します。**The main factor was a lack of communication.**（主要因はコミュニケーション不足だった）のように使います。①「工場」は **factory** で、スペルが似ているため注意が必要です。②「特徴」は **feature** や **characteristic**、③「事実」は **fact** が適切な単語であり、それぞれ **factor** とは意味が異なります。

◆補足：**factor** の語源はラテン語の **facere**（作る、行う）に由来し、「物事を作り出すもの」というのが元の意味です。これが転じて「要因」となりました。数学で使われる「因数」（例：**prime factor**

「素因数」) もこの単語です。key factor (重要な要因)、risk factor (危険因子)、deciding factor (決定要因) など、様々な形容詞と結びついて使われることが多いので、コロケーションとして覚えておく
と便利です。

3.

解答 ②

【解説】

正解は②「代わりのもの」です。alternative は、今ある選択肢の他に選ぶことができる「代わり
の選択肢、代替案」を意味する名詞です。形容詞としても「代わりの」という意味で使われます。We
have no alternative but to cancel the event. (我々にはイベントを中止する以外に選択肢がない)。①
「親戚」は relative、③「冒険」は adventure、④「態度」は attitude が適切な単語です。

◆補足：alternative の語源は、ラテン語の alter (他の、二者のうちのもう一方) に由来します。
alternate (交互の、交替する) という動詞・形容詞も同じ語源です。alternative medicine (代替医
療) や alternative energy (代替エネルギー) のように、従来の主流なものに「取って代わる」という
ニュアンスで使われることが多いです。choice や option も「選択肢」を意味しますが、alternative は
「もう一方の」という対比のニュアンスがより強い単語です。

4.

解答 ③

【解説】

正解は③「農業」です。farming は、作物 (crops) を育てたり、動物 (livestock) を飼育したりする
活動、すなわち「農業、農耕、畜産」を指す最も一般的な単語です。動詞 farm (農業を営む) の動名
詞形です。①「漁業」は fishing、②「鉱業」は mining、④「林業」は forestry がそれぞれ対応する単
語です。これらは第一次産業を表す単語としてセットで覚えておく
と便利です。

◆補足：farming と似た単語に agriculture があります。agriculture は farming よりもフォーマルで、
科学技術や経済活動としての「農業」という、より専門的で広範な概念を指すことが多いです。
organic farming (有機農業) や dairy farming (酪農) のように、farming は具体的な農業の形態を表
すのによく使われます。farm は動詞の他に、名詞として「農場、農園」を意味することも重要です。

5.

解答 ③

【解説】

正解は③annoy です。この動詞は、人を少し怒らせたり、いらいらさせたりすることを意味します。特
に、不快なことが繰り返される場合に使うことが多いです。His constant complaints began to annoy

her. (彼の絶え間ない不平が彼女をいらいらさせ始めた)。①avoid は「～を避ける」、②appoint は「～を任命する」、④approve は「～を承認する」という意味です。

◆補足：annoy から派生する形容詞 annoying (人をいらいらさせるような) と annoyed ((人が) いらいらしている) の使い分けが重要です。an annoying noise (耳障りな騒音)、I was annoyed with him. (私は彼にいらいらした)。類義語の bother は「迷惑をかける、困らせる」、irritate は annoy よりも強い「いらだち」を表します。

6.

解答 ②

【解説】

正解は②cause です。この動詞は、特に好ましくない結果の直接的な原因となる、すなわち「～を引き起こす、～をもたらす」という意味で広く使われます。The heavy rain caused a flood. (その大雨が洪水を引き起こした)。名詞としても「原因」という意味で重要です。①choose は「～を選ぶ」、③chase は「～を追いかける」、④cease は「やむ、～をやめる」という意味です。

◆補足：cause は cause A B (A に B をもたらす) という第 4 文型や、cause O to do (O に～させる) という第 5 文型の形で使われることが多いです。例：The accident caused him to change his mind. (その事故が彼に考えを変えさせた)。類義語として lead to ~ (～につながる)、result in ~ (～という結果になる)、bring about ~ (～をもたらす) などがありますが、cause は最も直接的な因果関係を示す基本的な単語です。

7.

解答 ③

【解説】

正解は③「歴史的に重要な」です。historic は、単に過去のことというだけでなく、「歴史上、有名または重要な」という特別な意味合いを持つ形容詞です。a historic speech (歴史的な演説) や a historic building (歴史的建造物) のように、後世に名を残すような出来事や物に使われます。①「歴史に関する」は、より一般的に歴史という分野に関わることを指す historical が使われます (例：historical research 歴史研究)。両者の区別は非常に重要です。②「先史時代の」は prehistoric、④「感傷的な」は sentimental です。

◆補足：historic と historical の使い分けは頻出ポイントです。historic = important in history (歴史上重要)。historical = related to history (歴史関連の)。例えば、歴史小説は a historical novel であり、a historic novel ではありません。しかし、その小説自体が歴史的に重要な意味を持つようになった場合は、a historic novel と呼ばれることもあり得ます。a historic day (歴史的な一日) のように、感情的な重みを持つことが多いのが historic の特徴です。

8.

解答 ②

【解説】

正解は②「制御不能で」です。out of control は、車や火、人の感情などが誰にもコントロールできない状態、すなわち「手に負えない、制御不能な」状態を表す表現です。The car went out of control and crashed. (その車は制御不能になり衝突した)。①「流行遅れで」は out of date、③「故障中で」は out of order、④「在庫切れで」は out of stock です。これらはすべて out of ~を使った重要表現なので、セットで覚えると効果的です。

◆補足：対義語は under control (制御されて、管理下にあって) です。get out of control で「手に負えなくなる」という変化を表します。control (制御、支配) の範囲の外 (out of) にある、というイメージで捉えると覚えやすいでしょう。

9.

解答 ①

【解説】

正解は①become aware of です。aware は「気づいている、知っている」という状態を表す形容詞で、become aware of ~で「～に気づくようになる」という変化を表します。五感で知覚する notice や、事実を悟る realize と似ていますが、become aware of は、ある情報に接して意識が向くようになる、というニュアンスで使われます。②get tired of は「～に飽きる、うんざりする」、③be afraid of は「～を恐れる」、④be proud of は「～を誇りに思う」という意味です。

◆補足：be aware of ~は「～に気づいている」という「状態」を、become aware of ~は「～に気づく」という「変化」を表します。名詞形は awareness (意識、認識) で、raise awareness of ~ (～についての意識を高める) という形で環境問題や社会問題の文脈で頻出します。conscious も「意識している」という意味で似ていますが、aware が外部の情報に「気づいている」のに対し、conscious は自己の内部の状態や思考を「自覚している」というニュアンスで使われることが多いです。

10.

解答 ③

【解説】

正解は③「続いている」です。「continuing」は動詞「continue」(続く) の現在分詞形で、形容詞として「継続的な、絶え間ない」といった意味で使われます。例文：The continuing rain is causing floods in the area. (降り続く雨がその地域で洪水を引き起こしている。) のように、何かが止まらずに続いている状態を表します。①「終了した」(finished, completed)、②「初期の」(initial, early)、④「複雑な」(complicated, complex) は文脈に合わないため不正解です。

◆補足：「continuing」は「継続している」という状態やプロセスを強調します。類義語の「continuous」は「途切れることのない、連続的な」という意味で、時間的・空間的な切れ目のなさを強調します (例：a continuous line - 途切れない線)。一方、「continual」は「頻繁に繰り返され

る、断続的な」という意味で、間に中断を挟みながらも繰り返し起こることを指します（例：continual interruptions - ひっきりなしの中断）。これらのニュアンスの違いを理解すると、より正確な表現が可能になります。

11.

解答 ④

【解説】

正解は④「懸念」です。concern は多義語ですが、この文脈では「心配、懸念、不安」という意味で使われています。a major concern で「大きな懸念事項」となります。②「関心」も concern が持つ意味の一つですが、「海面上昇」という文脈では、単なる関心事というよりは、心配の対象である「懸念」と捉えるのが最も自然です。①「会社」という意味もありますが、文脈に合いません。③「結論」は conclusion です。

◆補足：concern は用法をしっかりと整理する必要があります。名詞では①[U, C]心配、懸念（worry に近い）、②[C]関心事、重要な事柄（interest に近い）、③[C]会社、企業（company に近い）。動詞では①～を心配させる、②～に関係する、という意味があります。be concerned about ~（～について心配している）、be concerned with ~（～に関係している）の使い分けは非常に重要です。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②leisure です。仕事や勉強など、しなければならないことから解放された自由な時間を指す、ややフォーマルな言葉です。不可算名詞として扱われます。leisure time（余暇の時間）や leisure activities（余暇活動）のように、他の名詞と組み合わせて使われることも多いです。①labor は「労働」で、leisure の対義語にあたります。③pressure は「圧力、プレッシャー」、④treasure は「宝物」という意味です。

◆補足：leisure は、ラテン語の licere（許されている）に由来します。ここから「（何かをすることが）許された時間」→「自由時間、余暇」という意味になりました。license（免許、許可）と同じ語源です。日常会話では free time という表現がより一般的に使われます。leisure は、the leisure industry（レジャー産業）のように、少し改まった文脈やビジネスの場で使われることが多いです。at one's leisure で「暇なときに、都合の良いときに」という便利な表現になります。

13.

解答 ④

【解説】

正解は④「混合物」です。mixture は、複数の異なる物質や要素が混ざり合った「混合物、混合したもの」を意味します。The city's population is a mixture of various nationalities. (その都市の人口は様々な国籍の混合だ)。①「未来」は future、②「絵」は picture、③「姿勢」は posture が適切な単語です。

◆補足：mixture は動詞 mix (～を混ぜる) の名詞形です。a mixture of ~の形で「～の混合物」と表現します。類義語の combination は、要素がただ混ざっているだけでなく、一つのまとまりとして機能している「組み合わせ」というニュアンスが強い場合がありますが、多くの場合互換的に使えます。

14.

解答 ①

【解説】

正解は①「層」です。layer は、何かの表面を覆っている、あるいは他のものと積み重なっている「層」を意味します。ケーキの層、地層、服の重ね着の一枚一枚など、様々なものに使われます。The cake had three layers. (そのケーキは3層だった)。②「法律家」は lawyer、③「祈り」は prayer、④「選手」は player で、いずれも発音が似ているので注意が必要です。

◆補足：layer は、地質学の文脈では「地層」、気象学の文脈では大気の「層」(例：the ozone layer オゾン層) など、専門的な分野でもよく使われます。動詞としては「～を層にして重ねる」という意味があります。例：Layer the vegetables in a dish. (皿に野菜を層になるように重ねなさい)。

15.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を脅かす」です。threaten は、危害を加えるぞと言って「～を脅迫する」という意味の他に、悪いことが起こる兆候がある、何か危険にさらされている、という意味で「～を脅かす、～のおそれがある」という使い方も非常によくされます。Pollution threatens the survival of many species. (汚染が多くの種の生存を脅かしている)。①「～を強化する」は strengthen、②「～を広げる」は widen、④「～を短くする」は shorten です。

◆補足：threaten の名詞形は threat (脅威、脅迫) です。a threat to world peace (世界平和への脅威) のように使います。形容詞形は threatening (脅迫的な) です。threaten to do で「～すると脅す」という形も頻出です。例：The company threatened to fire him. (会社は彼を解雇すると脅した)。

16.

解答 ③

【解説】

正解は③reverse です。この動詞は、方向、順序、位置、決定などを「逆にする、反対にする、逆転させる」という意味で広く使われます。reverse the decision (決定を覆す) や reverse the trend (傾向を逆転させる) のように用います。①remove は「～を取り除く」、②review は「～を見直す、復習する」、④reveal は「～を明らかにする、暴露する」という意味で、それぞれ文脈に合いません。

◆補足：reverse は名詞 (逆、反対)、形容詞 (逆の、反対の) としても使われます。車のギアの「バック」も reverse です。語源はラテン語の re- (後ろに) と vertere (向きを変える) で、「後ろ向きにする」というのが元の意味です。the reverse side (裏側)、in reverse order (逆の順序で) といった表現も重要です。

17.

解答 ②

【解説】

正解は②in addition to です。この前置詞句は、すでにあるものに、さらに別のものを付け加えるときに使います。In addition to Japanese, she can speak English. (日本語に加えて、彼女は英語も話せる)。①in contrast to は「～とは対照的に」、③in spite of は「～にもかかわらず」、④in case of は「～の場合には」という意味で、それぞれ異なります。

◆補足：in addition to ~の後ろには名詞や動名詞が来ます。in addition だけで副詞として文頭や文末で使うこともでき、その場合は「さらに、その上」という意味になります (Furthermore や Moreover と類義)。単純に「A と B」と言いたい場合は A and B で十分ですが、in addition to A, B とすることで、B が付け加えられた要素であることが強調されます。besides も「～に加えて」という意味で使えますが、in addition to の方がややフォーマルです。

18.

解答 ④

【解説】

正解は④reduce です。この動詞は、数量、サイズ、価格、重要性などを「減らす、引き下げる、縮小する」ことを意味します。We need to reduce our expenses. (私たちは出費を減らす必要がある)。

①refuse は「～を断る」、②release は「～を解放する、発表する」、③remove は「～を取り除く、除去する」という意味で、いずれも異なります。

◆補足：reduce の名詞形は reduction (減少、縮小) です。類義語の decrease は自動詞として「減少する」、他動詞として「～を減らす」の両方で使われますが、reduce は他動詞としての用法が主です。lessen も「～を減らす」という意味ですが、reduce よりもフォーマルさが低い傾向があります。reduce stress (ストレスを減らす)、reduce the risk (リスクを減らす) などのコロケーションも重要です。

19.

解答 ②

【解説】

正解は②negative です。この形容詞は、物事の悪い側面に着目する態度や意見を指して「否定的な、消極的な」という意味で使われます。a negative attitude（否定的な態度）や the negative effects of smoking（喫煙の悪影響）のように使います。①native は「母国の、生まれつきの」、③neutral は「中立の」、④necessary は「必要な」という意味で、いずれも異なります。

◆補足：negative の対義語は positive（肯定的な、積極的な）です。この二つはセットで覚えることが不可欠です。negative には他にも「(検査結果が) 陰性の」(対義語は positive「陽性の」) や、「(数学・電気で) 負の」(対義語は positive「正の」) といった科学的な意味もあります。副詞形は negatively（否定的に）、動詞形は negate（～を否定する）です。

20.

解答 ②

【解説】

正解は②be made out of です。be made of とほぼ同じく、製品を見たときにその材料が目で見えてわかる場合に用いられます。特に、何か意外な材料から作り出されたというニュアンスを強調したいときに out of が好まれることがあります。例：a house made out of cardboard（段ボールでできた家）。①be made from は、原料が加工されて元の性質が変わってしまった場合（例：Wine is made from grapes.）に使います。④be made into は「(材料が) ～という製品に作り替えられる」という意味です。③be made at は文法的に誤りです。

◆補足：「～でできている」の使い分けを整理しましょう。◆be made of [材料]：見た目で材料がわかる（例：a desk made of wood）。◆be made from [原料]：加工されて材料がわからない（例：Paper is made from wood.）。◆be made out of [材料]：of とほぼ同じだが、意外性や「～から作り出す」というプロセスを強調する。◆be made up of [構成要素]：部分が集まって全体を構成している（例：The team is made up of five members.）。

21.

解答 ①

【解説】

正解は①「混乱させるような」です。confusing は、動詞 confuse（～を混乱させる）の現在分詞から派生した形容詞で、物事が分かりにくく「人を混乱させるような、紛らわしい」ことを表します。The instructions were very confusing.（その説明書はとても分かりにくかった）。②「快適な」は comfortable、③「便利な」は convenient、④「確信して」は confident です。

◆補足：-ing で終わる感情形容詞は「(人・物を) ～させるような」という原因を、-ed で終わる感情形容詞は「(人が) ～させられた」という感情を表します。したがって、confusing は「(物事が) 人を

混乱させる」であり、人が「混乱している」場合は **confused** を使います。I am confused. (私は混乱している)。この使い分けは、interesting/interested や boring/bored などと同様に非常に重要です。

22.

解答 ①

【解説】

正解は①**development** です。この単語は、動詞 **develop** (発達させる、開発する) の名詞形で、人や国、技術などが「発達、発展、成長」すること、また新しい土地や製品の「開発」を意味します。

economic development (経済発展) や **child development** (子どもの発達) のように使います。

②**department** は「部門、省」、③**deployment** は「配置、展開」、④**document** は「書類」という意味です。

◆**補足**：**developing country** は「発展途上国」、**developed country** は「先進国」を意味する重要な表現です。**under development** で「開発中」という意味になります。

23.

解答 ④

【解説】

正解は④**consume** です。この動詞は、エネルギー、燃料、食料、時間などを「消費する、使い果たす」、あるいは食べ物や飲み物を「摂取する」という意味で使われます。This car consumes a lot of fuel. (この車は多くの燃料を消費する)。①**contain** は「～を含む」、②**concern** は「～に関係する、～を心配させる」、③**conclude** は「～と結論づける」という意味です。

◆**補足**：**consume** の名詞形は **consumption** (消費) と **consumer** (消費者) で、どちらも経済や社会の文脈で非常に重要な単語です。**consumer electronics** (家電製品) や **energy consumption** (エネルギー消費) のように使われます。**consume** は、火事が「～を完全に燃やし尽くす」という意味や、ある感情が「(人)を支配する、のめり込ませる」という意味で使われることもあります。例：He was consumed by jealousy. (彼は嫉妬に駆られた)。

24.

解答 ①

【解説】

正解は①「有害な」です。**harmful** は、名詞 **harm** (害) に接尾辞 **-ful** (～に満ちた) がついてできた形容詞で、人や物事に害や損害を与える性質を持つことを示します。**be harmful to ~** の形で「～にとって有害である」と表現します。Smoking is harmful to your health. (喫煙は健康に有害だ)。②「無害な」は対義語の **harmless** です。③「希望に満ちた」は **hopeful**、④「感謝している」は **grateful** や **thankful** です。

◆補足：harmful は、身体的な害だけでなく、精神的な害や社会的な悪影響など、広い範囲の「害」について使えます。harmful effects（有害な影響）や harmful substances（有害物質）といった形でよく使われます。類義語の damaging は物理的な損害、injurious は特に健康や評判を損なう場合に使われることが多い、よりフォーマルな単語です。

25.

解答 ③

【解説】

正解は③design です。この動詞は、建物、服、機械などの外観や構造、機能などを「設計する、デザインする」ことを意味します。She designed a new logo for the company.（彼女はその会社のために新しいロゴをデザインした）。①define は「～を定義する」、②decline は「減少する、～を断る」、④desire は「～を強く望む」という意味です。

◆補足：design は名詞としても「設計、デザイン、意図」など多くの意味で使われます。be designed to do の形で「～するように意図されている、設計されている」という受動態の表現も頻出です。例：This bag is designed to be lightweight.（このバッグは軽量になるように設計されている）。語源はラテン語の de-（完全に）と signare（印をつける）で、「印をつけて計画を示す」ことが元の意味です。

26.

解答 ④

【解説】

正解は④remote です。この形容詞は、距離的に「遠く離れた、へんぴな」場所を指すのに使われます。a remote village in the mountains（山奥のへんぴな村）。また、時間的に「遠い（過去または未来の）」という意味や、関係性が「薄い」という意味でも使われます。①recent は「最近の」、②related は「関連した」、③relaxed は「くつろいだ」という意味です。

◆補足：remote の語源は、ラテン語の re-（後ろへ）と movere（動かす）で、「後ろへ動かされた」→「遠ざけられた」というのが元の意味です。remove（取り除く）と関連があります。remote control（リモコン）という言葉は、「遠くから操作するもの」という意味でこの単語が使われています。remote work（リモートワーク）も近年よく使われる表現です。

27.

解答 ④

【解説】

正解は④weight です。この単語は、物がどれだけ重いかを示す「重さ、重量」や、人の「体重」を意味します。lose weight（減量する）や gain weight（体重が増える）は頻出の表現です。①height は

「高さ、身長」、②width は「幅」、③depth は「深さ」を意味します。これらは寸法を表す基本的な単語として重要です。

◆補足：weight の動詞形は weigh（～の重さがある、～の重さを量る）です。名詞と動詞でスペルが異なるので注意しましょう。例：How much do you weigh?（体重はどのくらいですか?）。形容詞形は heavy（重い）です。比喩的に「重要性、重み」という意味で weight が使われることもあります。例：His opinion carries a lot of weight.（彼の意見には大きな重みがある）。

28.

解答 ④

【解説】

正解は④「環境」です。environment は、人々が生活する周囲の状況、特に自然界の「環境」を指すことが非常に多いです。the natural environment（自然環境）や protect the environment（環境を守る）は頻出表現です。また、家庭や職場などの「生活環境」という意味でも使われます。①「娯楽」は entertainment、②「政府」は government、③「運動」は movement がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：environment の形容詞形は environmental（環境の）です。environmental issues（環境問題）のように使います。environ という古いフランス語の「囲む」という動詞が語源で、「周りを取り囲むもの」というのが元の意味です。似た単語に surroundings がありますが、surroundings が物理的に「身の回りにあるもの」を指すのに対し、environment は社会的・文化的な状況も含めた、より広範な「環境」を指すことができます。

29.

解答 ①

【解説】

正解は①increasingly です。この副詞は、主に形容詞や副詞を修飾して、「ますます、だんだんと、次第に」という意味を表します。変化が進行中であることを示すのに便利な言葉です。It is becoming increasingly difficult to find a job.（仕事を見つけるのがますます困難になってきている）。

②eventually は「最終的には」、③frequently は「頻繁に」、④surprisingly は「驚くほど」という意味です。

◆補足：increasingly は、動詞 increase（増える）の現在分詞 increasing に -ly がついた形です。「増えながら」というイメージを持つと意味を捉えやすいでしょう。more and more という表現も「ますます」という意味で似ていますが、increasinglyの方がよりフォーマルな響きがあり、文章で好まれます。increasingly popular（ますます人気で）、increasingly important（ますます重要で）のように、様々な形容詞と結びつきます。

30.

解答 ④

【解説】

正解は④「否定的に」です。**negatively** は、物事を好ましくない、または悲観的な観点から見たり、扱ったりする様子を表す副詞です。He reacted negatively to my suggestion. (彼は私の提案に否定的な反応を示した) のように使います。①「積極的に」は対義語の **positively**、②「必然的に」は **necessarily**、③「生まれつき」は **natively** がそれぞれ対応する単語です。形が似ている単語に注意しましょう。

◆補足：**negatively** は形容詞 **negative** (否定的な、消極的な) の副詞形です。**negative** には「(検査結果などが) 陰性の」や「(数学の) 負の」といった意味もあります。動詞形は **negate** (～を否定する、無効にする)、名詞形は **negation** (否定) です。これらの派生語もまとめて覚えておくと語彙力が強化されます。**think negatively** (否定的に考える) や **affect ~ negatively** (～に悪影響を及ぼす) といったコロケーションも重要です。

31.

解答 ①

【解説】

正解は①「電子」です。**electron** は、原子を構成する素粒子の一つで、負の電荷を持つ「電子」を指す科学用語です。②「選挙」は **election**、③「要素」は **element**、④「電気」は **electricity** です。これらは科学や社会に関する英文を読む上で基本的な単語なので、正確に区別できるようにしておきましょう。

◆補足：**electron** は、**electric** (電気の) とギリシャ語由来の接尾辞 **-on** (素粒子などを表す) が組み合わさった言葉です。関連する素粒子として、原子核を構成する **proton** (陽子) と **neutron** (中性子) も覚えておくと語彙が広がります。**electronics** と複数形になると「電子工学」や「電子機器」を意味します。

32.

解答 ④

【解説】

正解は④「～の危険があって」です。**in danger of ~** は、何か悪いことや危険なことが起こりそうな状態にあることを示します。～の部分には、名詞や動名詞 (**-ing** 形) が入ります。**The bridge is in danger of collapsing.** (その橋は崩壊の危険がある)。①「～の担当で」は **in charge of ~**、②「～を支持して」は **in favor of ~**、③「～の代わりに」は **in place of ~** や **instead of ~** が適切です。

◆補足：**danger** は「危険」を意味する名詞です。**be in danger** で「危険な状態にある」となり、**of ~** がつくことで、具体的に何の危険があるのかを示すことができます。**out of danger** はその対義語で「危険を脱して」という意味になります。

33.

解答 ①

【解説】

正解は①「その間に」です。meanwhile は、ある出来事が起こっているのと同じ時間帯に、別の場所で別の出来事が起こっていることを示す副詞です。文頭や文中で用いられます。I was studying for the exam. Meanwhile, my brother was watching TV. (私は試験勉強をしていた。その間、兄はテレビを見ていた)。また、「それまでの間は」という意味で、未来のある時点までをつなぐ場合にも使われます。②「それにもかかわらず」は nevertheless、③「どこでも」は anywhere、④「いつかそのうちに」は sometime が適切です。

◆補足：meanwhile は in the meanwhile という形でも使われますが、意味は同じです。類義語に in the meantime があり、meanwhile とほぼ同じように使えますが、in the meantime の方がややフォーマルな響きを持つことがあります。while は接続詞として「～する間に」という意味で文と文をつなぎますが(例：while I was sleeping)、meanwhile は副詞なので、単独で文の要素として機能する点が異なります。

34.

解答 ①

【解説】

正解は①chief です。この形容詞は、数ある中で最も重要、または最も地位が高いことを意味し、限定用法(名詞の前)で使われるのが普通です。the chief reason (主な理由) や the chief executive officer (CEO) (最高経営責任者) のように使います。②cheap は「安い」、③brief は「簡潔な」、④tough は「困難な、丈夫な」という意味です。

◆補足：chief は名詞として「長、指導者」という意味も持ちます(例：a tribal chief 部族の長)。類義語の main や principal も「主要な」と訳されますが、chief は特に地位やランクの「最上位」というニュアンスを強調することがあります。語源はラテン語の caput (頭) で、captain (船長、主将) と同じ語源です。「頭となるもの」というイメージです。

35.

解答 ③

【解説】

正解は③consumer です。この単語は、動詞 consume (消費する) に人を表す接尾辞 -er がついた形で、商品やサービスを最終的に購入・利用する「消費者」を指します。経済の文脈でよく使われます。①producer は「生産者」で、consumer の対義語です。②customer は「顧客」で、特定の店から商品を買う人を指します。④competitor は「競争相手」です。

◆補足：consumer と customer の使い分けは重要です。consumer は市場にいる不特定多数の「消費者」という、より広い概念です(例：consumer demand 消費者需要)。一方、customer は特定の店や

企業にとっての「お客様」です（例：That store has many loyal customers. あの店には多くの常連客がいる）。client は、弁護士や会計士など専門的なサービスを受ける「依頼人」を指すことが多いです。

36.

解答 ④

【解説】

正解は④「野生動物」です。wildlife は、特定の地域に生息する野生の鳥、動物、昆虫などを集合的に指す不可算名詞です。自然環境の中にいる生き物全般を指します。wildlife protection（野生動物の保護）は頻出のテーマです。①「家畜」は livestock、②「牧草地」は pasture、③「ペット」は pet です。

◆補足：wild（野生の）と life（生命）が組み合わさった単語だと考えると意味を推測しやすいでしょう。個々の「野生動物」を指す場合は、a wild animal のように表現します。wildlife はあくまで集合的な総称である点に注意が必要です。

37.

解答 ①

【解説】

正解は①view です。この単語は、窓からの「眺め、景色」という意味の他に、特定の主題に対する個人の「見解、考え方、意見」という意味で頻繁に使われます。in my view（私の考えでは）という表現は覚えておきましょう。②sight は「視力」や目に入る「光景」、③scene は「場面」や「現場」、④vision は「視力」や将来の「未来像」などを意味します。

◆補足：「見解」という意味での view は、point of view（視点）という表現にもつながります。動詞としても「～と見なす、考える」（view A as B）という重要な用法があります。例：He views the situation as a great opportunity.（彼はその状況を絶好の機会と見なしている）。

38.

解答 ④

【解説】

正解は④generate です。この動詞は、電気、熱、光などのエネルギーを「発生させる」、あるいは、金銭的な利益や、特定の感情・状況などを「生み出す、もたらす」という意味で広く使われます。This power plant generates electricity for the entire city.（この発電所は都市全体の電力を生み出している）。①gather は「～を集める」、②guarantee は「～を保証する」、③govern は「～を統治する」という意味です。

◆補足：generate の名詞形は generation で、「世代」という意味の他に「発生」という意味も持ちます。a generator は「発電機」です。類義語の create は芸術作品など無から有を「創造する」ニュアンス、produce は工場などで「生産する」ニュアンスが強いですが、generate は特にエネルギーや抽象的なものを「発生させる」という文脈で好まれます。

39.

解答 ④

【解説】

正解は④「現在は」です。currently は、「今現在、目下」という意味で、現在の状況について述べるときに使われる副詞です。He is currently working on a new project. (彼は現在、新しいプロジェクトに取り組んでいる)。①「一般的に」は generally、②「最近」は recently や lately、③「頻繁に」は frequently や often が適切です。recently は過去形と共に、currently は現在形や現在進行形と共に使われることが多いので注意しましょう。

◆補足：currently は形容詞 current (現在の) の副詞形です。current は「現在の」の他に、名詞として「(川や電気の) 流れ」「風潮」といった意味も持つ重要語です。at present や now も「現在は」という意味ですが、currently はややフォーマルな響きがあり、ビジネスやニュースの文脈でよく使われます。

40.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を曲げる」です。bend は、まっすぐなものをカーブさせたり、角度をつけたりすることを意味します。bend your knees (ひざを曲げる) のように、体の一部を曲げる動作によく使われます。また、道などが「曲がる、カーブする」という自動詞としても使われます。①「～を送る」は send、②「～を貸す」は lend、④「～を混ぜる」は blend で、いずれも bend と音が似ているので注意が必要です。

◆補足：bend の過去形・過去分詞形は bent です。この不規則な変化も覚えておきましょう。bend over で「かがむ、前かがみになる」という熟語になります。名詞としては、道や川の「カーブ、曲がり角」を意味します。a sharp bend in the road (道路の急カーブ)。bend the rules は「規則を(都合よく) 曲げる」という比喩的な表現です。

41.

解答 ②

【解説】

正解は②「交通（輸送）機関」です。transportation は、人や物をある場所から別の場所へ運ぶ行為、またはそのためのシステムや手段（バス、電車、飛行機など）を指す不可算名詞です。特にアメリカ英語で広く使われます。Public transportation（公共交通機関）は頻出表現です。①「翻訳」は translation、③「変形」は transformation、④「移行」は transition が適切な単語です。

◆補足：transportation の語源は、trans-（横切って）と port（運ぶ）に由来し、「向こう側へ運ぶこと」が元の意味です。動詞は transport（～を輸送する）です。イギリス英語では、transportation よりも transport という単語が「交通機関」の意味で一般的に使われます。例えば、イギリスでは public transport、アメリカでは public transportation というのが主流です。

42.

解答 ②

【解説】

正解は②「竜巻」です。tornado は、漏斗状の雲を伴う、非常に破壊的な回転暴風、すなわち「竜巻、トルネード」を指します。アメリカ中西部でよく発生することが知られています。①「雷」は thunder（音）または lightning（光）、③「干ばつ」は drought、④「洪水」は flood がそれぞれ対応する単語です。

◆補足：自然災害に関する単語は、ニュースや長文読解で頻出します。hurricane（ハリケーン）、typhoon（台風）、cyclone（サイクロン）は、発生地域が異なるだけで、基本的には同じ熱帯低気圧を指す言葉です。earthquake（地震）、tsunami（津波）、volcanic eruption（火山の噴火）なども合わせて覚えておきましょう。

43.

解答 ③

【解説】

正解は③permanent です。この形容詞は、物事が一時的でなく、長い間、あるいは永久に続く状態を表します。a permanent job（正社員の仕事）や permanent damage（永久的な損傷）のように使います。①temporary は「一時的な」という意味で、permanent の対義語です。②patient は「忍耐強い」、④prominent は「目立った、著名な」という意味です。

◆補足：permanent の語源は、ラテン語の per-（通して）と manere（とどまる）で、「ずっととどまり続ける」というのが元の意味です。名詞形は permanence（永久、永続性）です。美容院で使われる「パーマ」は permanent wave の略で、長持ちする髪ウェーブを意味します。

44.

解答 ③

【解説】

正解は③serious です。この形容詞は、人の態度が「真剣な、本気の」であることや、問題や病気などが「重大な、深刻な」であることを示します。a serious problem（深刻な問題）のように使います。

①severe は、天候や痛みが「厳しい」、批判が「辛辣な」など、程度の激しさを表します。②solemn は「厳粛な、荘厳な」という意味で、式典などの雰囲気を表すのに使われます。④strict は「厳格な」という意味で、規則や人に対して使われます。

◆補足：serious は「冗談の」を意味する joking の対義語として使われることがあります。Are you serious?（本気で言ってるの？）は日常会話で頻出する表現です。名詞形は seriousness（真剣さ、深刻さ）です。a serious illness（重病）や a serious mistake（重大な間違い）など、ネガティブな文脈で使われることが多い単語です。

45.

解答 ④

【解説】

正解は④「利用する権利、アクセス」です。access は、場所へ入るための「接近方法」や、情報やサービスなどを「利用する権利、機会」を意味する不可算名詞です。日本語の「アクセス」と同じ感覚で使えます。have access to ~（～を利用できる）という形で頻繁に使われます。①「成功」は success、②「超過」は excess で、access と音が似ているので注意が必要です。③「軸」は axis です。

◆補足：access は動詞としても「～にアクセスする、～を利用する」という意味で使われます。その場合、access は他動詞なので後ろに前置詞は不要です（例：access the Internet）。名詞の access の語源は、ラテン語の ac-（～へ）と cedere（行く）に由来し、「～へ行くこと」が元の意味です。形容詞形は accessible（アクセスしやすい、利用しやすい）です。

46.

解答 ①

【解説】

正解は①effective です。この形容詞は、ある行動や方法が、意図した通りの良い「効果、結果」をもたらす場合に用いられます。This medicine is very effective against headaches.（この薬は頭痛にとっても効果的だ）。②efficient は「効率的な」という意味で、時間や労力を無駄にしないプロセスのことを指します。④defective は「欠陥のある」という逆の意味です。③affective は「感情の、情動の」という意味の心理学用語です。

◆補足：effective と efficient の区別は重要です。「効果（effect）がある」のが effective、「効率（efficiency）が良い」のが efficient と覚えると良いでしょう。例えば、徹夜で勉強してテストに合格すれば、その勉強法は effective（効果的）だったと言えますが、efficient（効率的）ではなかったかもしれません。effective は法律などが「有効な、施行されて」という意味でも使われます。

47.

解答 ②

【解説】

正解は②「量、交通量」です。**volume** は多義語ですが、この例文のように **the volume of ~** の形で、交通、貿易、生産などの「総量、全体量」を意味することがよくあります。**the volume of traffic** で「交通量」となります。③「音量」や④「(全集などの) 一巻、一冊」も **volume** の重要な意味ですが、文脈に合いません。①「価値」は **value** です。

◆補足：**volume** の主要な意味を整理しましょう。①量、額、総量：**the volume of trade** (貿易額)。②音量、ボリューム：**turn up the volume** (音量を上げる)。③(本などの) 巻、冊：**a dictionary in two volumes** (2巻組の辞書)。④容積、体積：**the volume of a box** (箱の容積)。このように多様な意味を持つため、文脈から適切な意味を判断する能力が求められます。

48.

解答 ③

【解説】

正解は③「昆虫」です。**insect** は、アリ、ハチ、チョウ、カブトムシなど、足が6本で体がいくつかの部分に分かれている小さな生き物、すなわち「昆虫」を指します。**insect repellent** (虫よけスプレー) は日常生活でよく使われる表現です。①「瞬間」は **instant**、②「本能」は **instinct**、④「侮辱」は **insult** がそれぞれ対応する単語です。

◆補足：**insect** の語源は、ラテン語の **in-** (中に) と **secare** (切る) に由来し、「(体に) 切れ込みが入ったもの」という意味です。これは昆虫の体が頭・胸・腹のように分かれていることから来ています。**section** (部分、区域) と同じ語源です。一般的な「虫」を指す場合は **bug** という単語がよく使われますが、**bug** は口語的で、クモやダンゴムシなど昆虫以外の小さな生き物も含むことがあります。**insect** はより生物学的に正確な用語です。

49.

解答 ③

【解説】

正解は③「成功した」です。**successful** は、目標を達成したり、富や名声を得たりして、「成功した、うまくいった」状態を表す形容詞です。**a successful businesswoman** (成功した女性実業家)。①「連続的な」は **successive** で、**successful** と形が非常によく似ていますが意味は全く異なるため、注意が必要です。②「疑い深い」は **suspicious**、④「社会的な」は **social** です。

◆補足：**successful** は名詞 **success** (成功) の形容詞形です。動詞は **succeed** (成功する) です。**succeed** は **succeed in ~** (~に成功する) の形で使われることが多いです。また、**succeed** には「~の後を継ぐ」という意味もあります。その場合の名詞形が **succession** (継承)、形容詞形が **successive** (連続する、引き続いての) となります。これらの派生語を整理して覚えることが重要です。

50.

解答 ①

【解説】

正解は①hide です。この動詞は、物や人を「隠す」、あるいは自分自身が「隠れる」ことを意味します。He hid the key under the mat. (彼はマットの下に鍵を隠した)。hide の過去形は hid、過去分詞形は hidden という不規則な変化をするので注意が必要です。②hit は「～を打つ」、③hold は「～を持つ」、④hire は「～を雇う」という意味です。

◆補足：hide and seek は「かくれんぼ」という遊びの名前です。hidden は過去分詞としてだけでなく、「隠された」という形容詞としてもよく使われます。a hidden camera (隠しカメラ) や a hidden meaning (隠された意味) など。類義語の conceal は、hide よりも意図的に、そして巧妙に「隠す」というニュアンスが強いフォーマルな単語です。
